

# History 山梨の近現代 おもなできごと



明治10年落成当時の山梨県庁



新笹子トンネル開通



アイオワ州とのメッセージ交換の様子



山梨近代人物館（県庁別館内）の展示室

**明治**

- 元年（1868） 官軍甲府入城、甲斐府を置く
- 2年（1869） 甲斐府を廃し甲府県とする
- 4年（1871） 甲府県を山梨県に改める
- 5年（1872） 大小切騒動が起こる
- 6年（1873） 大阪府参事藤村紫朗、山梨県権令となる（翌年県令となる）
- 10年（1877） 山梨県庁落成。第十国立銀行設立
- 13年（1880） 明治天皇巡幸
- 36年（1903） 中央線甲府駅まで開通
- 44年（1911） 御料林を山梨県へ御下賜の御沙汰書。中央線新宿～名古屋間全線開通

**大正**

- 元年（1912） 県恩賜県有財産管理規則制定
- 9年（1920） 恩賜記念の謝恩碑が舞鶴公園に完成。第1回国勢調査、県人口58万3,453人

**昭和**

- 3年（1928） 富士身延鉄道全線開通。県議会議事堂完成
- 5年（1930） 県庁新庁舎（現在の別館）完成
- 6年（1931） 中央線甲府～新宿間電化
- 7年（1932） 富士山測候所開設
- 20年（1945） 甲府空襲、全市の74%が焦土と化す
- 25年（1950） 「山梨県の歌」決まる
- 33年（1958） 国道20号に新笹子トンネル開通
- 35年（1960） アメリカ合衆国アイオワ州と姉妹締結
- 39年（1964） 富士山有料道路（スバルライン）開通
- 44年（1969） 中央自動車道富士吉田線開通
- 45年（1970） 第1回信玄公祭り開催
- 53年（1978） 県立美術館開館
- 57年（1982） 中央自動車道全線開通
- 61年（1986） かいじ国体、ふれあいのかいじ大会開催

**平成**

- 元年（1989） リニア新実験線建設地が山梨に決定
- 8年（1996） 地方病の流行終息宣言
- 10年（1998） 雁坂トンネル開通
- 14年（2002） 中部横断自動車道白根IC～双葉JCT開通
- 15年（2003） 「平成の大合併」県内第1号として、新・南部町誕生
- 17年（2005） 山梨県立大学開学
- 25年（2013） 「富士山」世界遺産登録
- 26年（2014） 豪雪災害の発生
- 27年（2015） 山梨近代人物館開館

**令和**

- 元年（2019） 山梨「ワイン県」宣言
- 2年（2020） 新型コロナウイルス感染症の世界的大流行



恩賜記念の謝恩碑



美術館の一般公開に訪れた県民たち



「ワイン県」宣言を行った長崎知事

# Forerunner 先人

明治時代から戦前までの間、山梨県の発展に貢献した人物、国内外で活躍した山梨ゆかりの人物



山梨中銀金融資料館蔵

わかおいっぺい  
**若尾逸平**  
(1820-1913)

南アルプス市生まれ。甲州財閥の中心人物。天秤棒から身を起こし一代で東京の電力や市電を支配するほどの財を成す。第十国立銀行（山梨中央銀行の前身）の取締役や初代甲府市長、県内初の貴族院議員となり活躍した。



あめみやけいじろう  
**雨宮敬次郎**  
(1846-1911)

甲州市生まれ。甲州財閥の一人。明治の文明開化の中で常に時代の先を読み、鉄道や製鉄業などの経営に手腕を振るい、甲武鉄道（現・JR中央線の一部）の取締役となる。また、国の発展のために社会的事業にも取り組んだ。



東武博物館提供

ねづかいちろう  
**根津嘉一郎**  
(1860-1940)

山梨市生まれ。甲州財閥の一人。東武鉄道など全国の鉄道会社経営に関わり「鉄道王」と呼ばれた。文化振興にも大きく貢献し、山梨県内の全小学校にピアノを寄贈。「根津ピアノ」の愛称で、今も親しまれている。



阪急電鉄株式会社提供

こばやしいちそう  
**小林一三**  
(1873-1957)

韮崎市生まれ。阪急グループ創設者で、鉄道を拠点とした都市開発モデルを生み出した。阪急電鉄をはじめ、日本初のターミナル・デパートや東宝映画、宝塚歌劇団など数々の事業を立ち上げた。



個人蔵

はやかわのりつぐ  
**早川徳次**  
(1881-1942)

笛吹市生まれ。ロンドンで地下鉄事業を学び、東洋初となる地下鉄の“生みの親”となる。生涯を懸けて挑んだ地下鉄は発展を続け、首都の大動脈・東京メトロとして、今も多くの人々を運んでいる。



石橋湛山記念財団蔵

いしばしたんざん  
**石橋湛山**  
(1884-1973)

東京都生まれ。幼少期から高校時代を山梨県で過ごした。戦後、衆議院議員となり第一次吉田内閣で大蔵大臣、第一次鳩山内閣では通商産業大臣を務める。1956（昭和31）年には第55代内閣総理大臣に就任した。



山梨中銀金融資料館蔵

ふじむらしろう  
**藤村紫朗**  
(1845-1909)

熊本県生まれ。14年間、山梨県の県令（県知事）として、県営勸業製糸場建設、葡萄・葡萄酒生産の振興、甲州街道の改修など殖産興業政策を推し進めた。教育にも力を注ぎ、擬洋風建築の校舎は「藤村式」と呼ばれている。



個人蔵

ないとうたちゅう  
**内藤多仲**  
(1886-1970)

南アルプス市生まれ。建築構造技術者・学者。東京タワー、大阪通天閣、名古屋テレビ塔など、多くの塔を設計し、「耐震構造の父」「塔博士」と呼ばれた。山梨県庁本館や県民会館の設計も手掛けた。



甲州市提供

たかのまさなり  
**高野正誠**（左）（1852-1923）  
つちやりゅうけん  
**土屋龍憲**（右）（1859-1940）

甲州市生まれ。国産ワインの礎を築いた。日本初のワイン醸造会社「大日本山梨葡萄酒会社」が設立された年、フランスに留学し、本場の葡萄栽培法・葡萄酒醸造法を学び、帰国後、普及に努めた。



写真提供：北杜市浅川伯教・巧兄弟資料館の浅川文彦

あさかわ たくみ  
**浅川 巧**  
(1891-1931)

北杜市生まれ。日本と朝鮮の架け橋となった林業技師。朝鮮半島に渡り、伐採により荒廃した山野の緑化に取り組みながら、朝鮮の工芸品の研究や保存にも尽力するなど、朝鮮文化をこよなく愛した。